

山形県における消防出勤の傾向分析と地域消防体制の課題 ～高齢化・人口減少社会における消防の役割～

浅田 幸輝

本研究は、人口減少および高齢化が進行する地方社会において、消防活動がどのような影響を受けているのかを明らかにすることを目的に、山形県を対象に消防出勤の実態と傾向について分析を行った。具体的には、消防組織の現状、救急出動件数および火災発生状況に関する統計資料を基に、近年の出動動向を整理し、その背景要因について考察した。

分析の結果、高齢化の進展に伴い救急出動件数が増加傾向にある一方、人口減少や生活様式の変化により、火災件数は減少傾向にあることが明らかとなった。また、消防吏員数は増加しているものの、地域防災の要として重要な役割を担ってきた消防団員の減少が、災害対応力の低下につながる可能性が示唆された。

これらの結果をふまえ、本研究では山形県における消防体制の課題として、人員確保や地域との連携強化の必要性を指摘するとともに、今後の地域消防のあり方について検討した。人口構造の変化に対応した持続可能な消防体制の構築が、地域の安心・安全を維持する上で不可欠であると結論づけた。